

12月定例会

# 常任委員会 活動

## 総務 常任委員会

### バス停の新設

- Q デマンドバスのバス停が遠いという声を聞くが、どうにかならないか。
- A バス停間で200メートル離れていれば、新たに設置することができる。個人からの要望では対応できないので、区長経由で要望してもらいたい。

企画情報課

### 新たな価値創造事業

- Q 大山未来会議での5つのグループの、その後の活動支援はどうなっているか。
- A 地方創生事業の「新たな価値創造事業補助金」で支援している。大山テレビ部、大山アニメーションプロジェクトなどでも活用されている。



大山テレビ部

企画情報課

### 地域に根ざす協力隊員



てまひま(長田集落)

総務委員会では12月8日、9日の2日間、上程議案の説明を各課から受けた。9日の午後には、孝霊山、旧高麗小学校長田分校、地域おこし協力隊の藪田さん

が運営する「てまひま」、旧光徳小学校の現地視察も行った。委員の多くが孝霊山の魅力を再認識し、どうにか観光に活用したいと盛り上がった。

## 教育民生 常任委員会報告

### 家庭保育への支援

- Q 0歳児から2歳児までの保育希望が増加しているが、対策は。
- A 幼児教育の重要性を考え、3歳まではできるだけ家庭で保育してほしい。1歳児の保護者にアンケートを行ったら、半数が家庭で保育したいと回答があった。今後、家庭保育支援事業の対象年齢拡大(現在は3カ月から1歳まで月額3万円、条件あり)を検討していく。また、3カ所ある子育て支援センターを持ち回りで土曜日の午前中にも開設していきたい。

幼児・学校教育課

### 国保事業

- Q 平成30年の県一本化へ向けての進展状況は。
- A 国保税の算定方法が一番の課題となっている。現在の4方式(所得割・資産割・均等割り・平等割)から資産割を除いた3方式にするかどうか検討中である。

住民生活課

### エアコン設置で快適に学習



大山中学校正面

12月8日、大規模改修を終えた大山中学校を視察した。外壁の改修と空調設備の設置が主な事業。そのほか屋上のフェンスの強化や多目的トイレの

設置など改善点を見学した。その後、ランチルームで中学生と昼食を共にした。生徒のきびきびした態度、あいさつに頼もしく感じた。

### 中部地震の被害

- Q 被害状況と復旧対策は
- A 重要文化財 銅造観世音菩薩立像の修復を行う。また大神山神社奥宮や大山寺洞明院の石垣の一部が崩落した。いずれも国の補助を受けて修復する予定である。



崩落した奥宮参道の石垣

人権・社会教育課

### 防犯対策

- Q 高齢者施設の外部からの不審者侵入に対する防犯対策は。
- A 防犯カメラおよび人感センサー付ライトの設置に助成する。国の全額負担で、町内3カ所を予定している。

福祉介護課

### 日本と台湾

- Q 町税条例の改正の要点は。
- A 正式な国交がない台湾とは、租税条約が締結されておらず、相手国に居住する自国民が不利益を被ることもあった。問題解決のため、民間で日台租税協定が結ばれ、対応する条例改正が必要となった。

税務課

### 参道のにぎわい拠点

- Q 大山参道にぎわい復活の拠点を建設するにあたり、採算性の調査結果は。
- A 複合商業施設を予定しているが、テナントはまだ決まっていない。いろいろなパターンを提案しながら、外部に分析を依頼している。

地方創生本部事務局

### 店舗の撤退

- Q 議員と語る会で、中山のコーナンが撤退したことについての質問が町民からあった。賃料などの相談はなかったのか。
- A 賃料に関する相談はコーナン側からされていて、1年前に下げたばかりだった。

総務課



# まったなし健康づくり 体制の強化求める

本町では、生活習慣に関わる病気が多く、国保加入の町民一人当たりの医療費が37万6千円になるなど、町民の医療費が急増しています。

議会では、財政状況を考慮しながら、今後の健康・医療・介護のあり方を検討する特別委員会（西尾寿博委員長）を平成27年4月に設置し調査研究してきました。

こうした課題は、町民に最も身近で切実なも

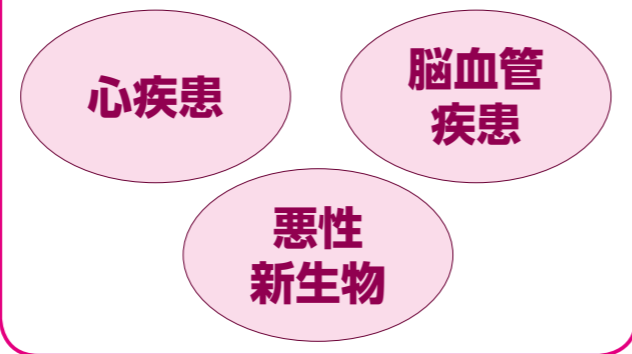
ので、行政はこれらの課題や問題点、方向性を町民にわかりやすく説明し、ともに考え、解決に向け協働していかなければなりません。

特別委員会は、12月定例会中に、「まったなし健康づくり」を積極的に行うことや、介護予防事業の充実など、4つの提言を柱とする最終報告をまとめました。



男性も参加を 脱メタバ教室

## 大山町民が多くかかる病気は



## 議会から4つの提言

### 「まったなし健康づくり」をさらに積極的に

各地区に担当保健師を配置し、きめ細かな健康指導などが必要です。

### 介護予防事業をさらに充実させる

平成37年には本町の高齢化率が42.4%（推計）に。介護保険料の負担増が心配されます。

### 直営診療所は経営改善努力を

安定経営には地域住民の積極的な利用も必要です。

### 国保会計の法定外繰入は最小限に

独立採算が原則ですが、高額な医薬品の普及など、保険給付費の増加も心配です。

## 経済建設 常任委員会

### 新農業委員会制度

- Q新委員は地区で選ぶ方が現実的ではないか。
- A町報やHPで公募するが応募者は少ないと思う。
- Q報酬の検討は。
- A周辺町村の額を参考にして

農業委員会

### 林業再生事業

- Q林業対策の内容は。
- A大山プレカット協同組合が国の2次補正予算を活用し、CLTの加工機械導入と作業用建物の建設事業費2億8800万円の内1/2が補助されるもの。

農林水産課

### 水道事業の統一

- Q水道事業変更の計画日程は。
- A現在の上下水道3地区、簡易水道10地区を一つの上水道として統合する。平成29年2月中に変更申請を行い年度内に認可を受ける予定である。

水道課

### 畜産振興の起爆剤となるか



大規模牛舎の建設予定地

12月8・9日の2日間、経済建設常任委員会は所管する各課から執行状況や課題などの説明を受けた。現地視察は、畜産クラスター事業で、牛

舎や牛の排せつ物を堆肥化する施設などの建設予定地の旧中山羽田井地区を訪ね、規模や周辺に及ぼす環境影響などを確認した。

### 公共工事予算の確保

- Q交付金減額の対策は。
- A国からの交付金が予定のほぼ半額（7370万円の減）となった。必要な工事は起債（借金）と一般財源で対応する。遅れている退休寺線は国の補正を使う。



急斜面工事で計画と工事期間の変更

建設課

### 仮称「山の駅」構想

- Q参道の空き家対策の計画は。
- A旧ゆきやま山荘跡地に平成29年4月工事開始予定（工事費は解体費；5000万円、新築工事費；2億円）。カフェと休憩所にテナント4軒を備える。出店者は町内優先としたい。

観光商工課